

# 杉並区交流自治体 小笠原村から観光案内が届きました

小笠原村は、東京から南へ約1,000km離れた遠隔離島です。大小30余りの島々から成る小笠原諸島ですが、民間人が住んでいるのは父島・母島の2つで、人口はそれぞれ約2,200人(父島)、約450人(母島)です。亜熱帯に属しており、一年間を通じて温暖な気候が特徴で、年平均気温は23℃です。また、日本最南端の沖ノ鳥島、日本最東端の南鳥島も小笠原村に属しています。小笠原諸島は一度も大陸と陸続きにならなかったことがない海洋島のため、独自の進化を遂げた固有の生き物やその生態系を見ることが出来ます。その独特で豊かな自然の価値が認められ、平成23年6月に日本で4番目の「世界自然遺産」に登録されました。

小笠原の観光と言えばなんといっても海です。「ボニンブルー」と称される、深く濃いどこまでも透き通った青い海でのダイビング、スノーケリングはまさに圧巻という言葉がぴったりの景色を見せてくれます。初夏にはアオミガメが産卵に、冬にはザトウクジラが子育てにやってきます。またイルカは年間を通し見ることが出来ます。

海に負けず劣らずオススメしたいのが山・森です。濃い緑の山に入れば、独自の進化を遂げたここでしか見られない生物、植物を目にすることでしょう。ガイドさんの解説を聞きながら固有種を探してみてください。

そして最後に忘れてはならないのが、夕日と星空です。父島ではウェザーステーション、母島ではサンセットシアターが定番の夕日スポットです。見ると幸せになれるという「グリーンフラッシュ」もひょっとしたら見られるかもしれません。また夜には満天の星空が。街灯が少ない小笠原は、星空日本一に選ばれたこともあるんですよ。

言葉では伝わらないことがたくさんあります。ぜひ一度お越しただいて、体験してみてください。お待ちしております！

小笠原村役場 産業観光課 伊藤 嘉則



父島



母島: ハハジマメグロ

# すぎなみ交流ニュース

第69号

2023年7月

Suginami Cultural Exchange News

스기나미 교류 소식

杉並的交流消息

発行：一般財団法人 杉並区交流協会  
[Suginami Association for Cultural Exchange(SACE)]  
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階  
[Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]  
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail : info@suginami-kouryu.org

発行：年4回発行 ◆ 協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。

<https://suginami-kouryu.org/>

目次

外国人のための杉並さんぽ ..... 2

エベレストインターナショナル訪問ほか ..... 3

小笠原村観光案内ほか ..... 4

JR阿佐ヶ谷  
地下鉄丸の内線 南阿佐ヶ谷  
杉並区役所  
杉並区交流協会 (みなみ阿佐ヶ谷ビル5F)  
青梅街道  
杉並警察署

## 東京高円寺阿波おどり台湾公演を開催しました!

杉並区交流協会では、5月11日(木)から13日(土)まで「東京高円寺阿波おどり台湾公演2023」を開催し、高円寺阿波おどり連協会選抜の94名とともに台湾を訪問しました。

杉並区と台湾は、2011年に開催された中学生親善野球大会をきっかけに交流がスタートし、2015年には「東京高円寺阿波おどり」を台湾にて初公演しました。その後、過去2回にわたり公演を行い、今日まで交流を深めています。新型コロナウイルス感染症の影響により、杉並区においても、東京高円寺阿波おどりの高円寺での本大会が3年連続で中止となるなど、大変厳しい状況が続きました。そのような中、台湾から杉並区へマスクや防護服などの多大なる支援をいただきました。これらの温かい支援に対し、「東京高円寺阿波おどり」を通して感謝の気持ちを伝えてきました。



## 8月26日(土)・8月27日(日) 東京高円寺阿波おどり開催!!

今年は4年ぶりに「東京高円寺阿波おどり」が開催されます。8月26日(土)には杉並区交流自治体連の縁と結も参加します。

参加予定の交流自治体 北海道名寄市・群馬県東吾妻町・新潟県小千谷市・福島県北塩原村・福島県南相馬市・東京都青梅市・静岡県南伊豆町

銘傳大学にて阿波おどりのワークショップを開催

## Event Information from SACE 交流イベント情報

開催時期	イベント名	イベント内容	開催時間	場所	
7月	7/10(月)~14(金)	南相馬市写真展	福島県南相馬市「相馬野馬追」の写真展	8:30 ~ 17:00	杉並区役所2階区民ギャラリー(A面)
	7/20(木)	吾妻の朝市	群馬県東吾妻町の特産品販売	10:00 ~ 14:00	杉並区役所中杉通り側入口前
	7/23(日)	おぢやフェア	新潟県小千谷市の特産品販売	11:00 ~ 13:30	小千谷学生寮
	7/26(水)	忍野村物産展	山梨県忍野村の特産品販売	10:00 ~ 14:00	杉並区役所中杉通り側入口前
	8/18(金)	忍野村物産展	山梨県忍野村の特産品販売	10:00 ~ 14:00	杉並区役所中杉通り側入口前
8月	8/20(日)	おぢやフェア	新潟県小千谷市の特産品販売	11:00 ~ 13:30	小千谷学生寮
	8/24(木)	吾妻の朝市	群馬県東吾妻町の特産品販売	10:00 ~ 14:00	杉並区役所中杉通り側入口前
	8/31(木)~9/1(金)	スイーツコーンまつり	北海道名寄産とうもろこし等の販売	10:00~14:00 ※最終日13:00まで	杉並区役所中杉通り側入口前
9月	9/8(金)	南相馬市物産展	福島県南相馬市の特産品販売	10:00 ~ 14:00	杉並区役所中杉通り側入口前
	9/11(月)	南伊豆町観光物産展	静岡県南伊豆町の特産品販売と伊勢海老の味噌汁試食サービス(11時から)	10:00 ~ 14:00	杉並区役所中杉通り側入口前 杉並区役所1階コミュかるショップ前
	9/19(火)~25(月)	青梅市PRキャラバン	東京都青梅市の観光写真展	初日は10時開始 8:30 ~ 17:00	杉並区役所2階区民ギャラリー(A面)
	9/19(火)、9/25(月)	青梅市PRキャラバン	東京都青梅市の物産展	10:00 ~ 15:00	杉並区役所中杉通り側入口前
	9/21(木)	吾妻の朝市	群馬県東吾妻町の特産品販売	10:00 ~ 14:00	杉並区役所中杉通り側入口前
	9/24(日)	おぢやフェア	新潟県小千谷市の特産品販売	11:00 ~ 13:30	小千谷学生寮
	9/28(木)~9/29(金)	北塩原村秋の物産展	福島県北塩原村の特産品等の販売と観光PR	9:30 ~ 15:30	杉並区役所中杉通り側入口前

※物産販売はいずれも雨天実施。売り切れ次第終了となります。マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。問合せ：区役所文化・交流課交流推進担当 ☎03-3312-2111(代表)

### 交流協会の会員になりませんか?

年度会費 ・個人会員 1,000円/年 (9月以降入会の場合は初年度に限り500円)  
・法人会員 20,000円/年

会員期間 入会の月から3月31日まで(当年度末)

杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

会員特典 ① イベントの情報や交流に関する情報紙「交流ニュース」などをお届けします。  
② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。

申込方法 杉並区交流協会まで申し込みください。  
※LINEでも情報を送ります。友達登録をお願いします。

# 外国人のための杉並さんぽ

5月27日(土) 杉並区交流協会と杉並区スポーツ振興財団が連携して、「外国人のための杉並さんぽ」を開催しました。当日の天気は快晴で、気温は26度前後と絶好の散歩日和！さわやかな初夏の風の中、外国人26名とボランティア13名の39名が区内の魅力的なスポットを歩いて巡りました。

今回の「さんぽ」は神明宮からスタートしました。全員で社社の由緒を聞き、二拝二拍手一拝で参拝。ここから5名ほどの小さいグループに分かれて出発しました。

令和2年にリニューアルした明るく開放的な中央図書館を見学し、区役所では起震車に乗り、震度7の揺れを体験。「本当の地震に向けて心の準備ができた」と地震の経験が無い外国人ならではの感想も聞かれました。

また、今回の「さんぽ」で一番人気の大田黒公園では、緑豊かな園内を散策し、茶道を体験しました。本格的な茶室に入ると、驚く方、感動する方、急に静かになる方などなど。お茶会では、皆さんのテンションが上がりました。

やはり、皆さん正座は苦手なようで、椅子にすわる方、あぐらの方が多かったのですが、中にはびっくりするほど長時間正座をしている方も。

裏千家 山中先生から、お茶菓子の食べ方やお抹茶の飲み方を教わり、「貴重な体験ができ、感動した」、「お茶がおいしかった」、「神聖な気持ちになった」、「一期一会も学びました」と皆さん笑顔で感想を伝えてくれました。

最後に、参加したボランティアの方からいただいた素敵なコメントを紹介します。

「家族や既知の友人と会話するのみだった日々、コロナ禍の後でこうして未知の世界の人々と交流できる機会をいただき、知らず知らず内向きになっていた思考や気分がパッと明るく前向きになったような気持ちがしました。」

今回の経験を活かし秋にも「さんぽ」を企画すること。私もまた参加してみたいイベントでした。(広報O)



↑↓大田黒公園にて



中央図書館



防災課起震車体験

抹茶を楽しむ参加者



茶道体験の講師



神明宮

# ナマステ(こんにちは) 日本で唯一のネパール人学校 訪問

5月19日(金)に杉並区交流協会の広報委員と事務局の7名でエベレスト・インターナショナル・スクール(EISJ)を訪問しました。対応して下さったのは総務・広報担当の藤尾和人さんです。バットビスヌ・バラサド校長とネパール・メガラジ副理事長からもお話をうかがうことができました。

## 開校から10年で児童生徒は30倍超へ

EISJは、日本で唯一のネパール人学校であると同時に、ネパール政府の認可を受けて、本国のカリキュラムで教育を行う唯一の海外ネパール人学校でもあります。

2013年4月、子どもたちがネパールの言葉や文化を学ぶ場を作ろうと、有志が資金を出し合せて、阿佐ヶ谷駅近くにEISJを開校しました。当時の児童生徒は13人。在日ネパール人が5年ほどの間に3万2千人へと倍増した時期でした。入学希望者は年々増加し、阿佐ヶ谷校が手狭になり、2018年8月に荻窪1丁目のビルに転居しました。

開校から10年経った現在は、当初の30倍に当たる約400人が登校し、320人ほどが入学を待っている状況です。3歳から18歳(12年生)までの9割はネパール人ですが、残り1割は日本人を含めた多国籍構成です。

EISJの教育言語は英語で、欧米と同じく9月入学6月卒業。日本で13校目のケンブリッジ国際認定校(CA)になり、卒業生の進学先は日本だけでなく、英語圏の大学にも広がりました。

## EISJの子どもたちにも教育支援を

在日ネパール人は126,429人(2022年6月末)。19歳未満14,890人のうち、0~2歳が35%(5,240人)を占めます。ほとんどが日本生まれの子どもたちです。インターナショナルスクールの日本での位置づけは様々で、教育基本法に基づく「一条校」\*のほかに「各種学校」と「無認可施設」があります。EISJは無認可施設。このため、藤尾さんによると、「一切の公的支援を受けることができず、関東バスを除くと通学定期の購入もできません」。保護者の多くが働く飲食業はコロナ禍の直撃を受けました。月額基本授業料5万円の捻出が難しくなり、「中には公立学校に転校した子どももいるのですが、日本語で苦労しているようです」。外国籍の子どもの6人に1人は不就学だという文部科学省の調

査結果(2019年9月)もあります。取材を進める中で、EISJの子どもたちを含め、日本語を母語としない子どもたちへの教育基本法に基づく公的支援が課題であると感じました。

## 外国ルーツの子どもたちの支援体制の検討を

藤尾さんは、「ネパール人児童生徒を受け入れた公立学校から、通訳や授業支援などを頼まれることがあるのですが、EISJにはその余力がありません。教育委員会などで支援策を検討する必要があるのではないのでしょうか」と話されました。

私たちの突然の教室訪問に、満面の笑顔で「ナマステ」と挨拶してくれた子どもたちの笑顔が経済的理由などで曇ることのないように、何かできることはないのだろうかと思わずにいられてませんでした。(広報T)

\*「一条校」とは、学校教育法第1条に定められた学校の種類のこと。小学校、中学校、高等学校、大学などを指し、一般的に「学校」と称されるもの。



藤尾さんとネパール・メガラジ副理事長



↑エベレストインターナショナル2年生クラス

←バットビスヌ・バラサド校長と広報委員

# 料理を通して学ぶ交流自治体 北海道名寄市 5月30日(火) 於: 阿佐谷地域区民センター

杉並区の交流自治体を料理を通して学ぶ新企画の第1弾として、北海道でも北方に位置する名寄市を紹介しました。今回のメニューは名寄市名物の「煮込みジンギスカン鍋」と日本一の生産量を誇る「もち米のおこわ」、旬の食材「アスパラガス」です。参加者14名は名寄市からの派遣職員横澤さんより、名寄市の観光情報や特産品の説明をうけ、その後、横澤さんが腕を振るった美味しいお料理をいただきました。(広報O)

- \*\*\*\* 参加者の感想 \*\*\*\*
- \* 煮込みジンギスカン鍋はだしがとてもおいしかった。
  - \* アスパラガスはバターと醤油で焼いたシンプルな料理でしたがとてもおいしかった。
  - \* 名寄市について楽しく知ることが出来て、おいしい料理も食べられて大満足です。

第2弾は9月に福島県南相馬市を紹介する予定です。イベントなどのお知らせをLINEで送ります。

右のQRコードから、ぜひ友達登録をしてください。



煮込みジンギスカン鍋



名寄で話題の「N」ポーズ

# 忍野村とうもろこし畑

5月22日(月)杉並区交流協会では交流事業の一環として杉並区交流自治体の山梨県忍野村にとうもろこしの苗を植えました。忍野村の特産品の一つでもあるとうもろこしは、とても甘みがあり、糖度はブドウやバナナと同じぐらいの20度ほどで、畑で収穫しそのまま生で食べられるそうです。収穫時期は7月下旬~8月上旬の予定です。交流ニュース69号と70号ではとうもろこしの生育過程などをお届けします。



苗植え日 5/22



苗植えから約1か月 6/20



とうもろこし畑問い合わせ先  
忍野観光協会  
0555-84-4222